

クラブからのメッセージ 「土曜日はJリーグ、日曜日にはWEリーグ」

2021年、埼玉県のスポーツに新しい波が押し寄せます。女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」のスタートです。

2020年のなでしこリーグ・チャンピオンである浦和レッドダイヤモンドレディースは、同じさいたま市に新たに誕生した「大宮アルディージャVENTUS」、狭山市を中心に長く活動してきた「ちふれASエルフェン埼玉」とともに、さいたま市を舞台にWEリーグが目指す「夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展」に貢献していきたいと考えています。

私たちのチームは、1980年に誕生した「本太レディース」、そしてそこから1998年に派生した「浦和レイナス（後にさいたまレイナス）」を引き継ぐ形で2005年にスタートを切りました。「サッカーのまち 浦和・さいたま」が歳月をかけて愛情を注ぎ、育ててきたチームは、「レイナス」時代の2004年を含め4回にわたるなでしこリーグ優勝を経て、日本で有数の女子チームになるとともに、浦和駒場スタジアムでたくさんの市民の声援を受け、喜びを分かち合ってきました。

同時に、私たちのチームは、男子の日本サッカーリーグ（1965～1992）時代の強豪「三菱重工サッカー部」から生まれた浦和レッズの、女子サッカーに対する深い思いも受け継いできました。1970年代から1980年代にかけ、「揺籃期」にあった日本の女子サッカー。当時、独立採算で全日本女子選手権（今日の皇后杯）や日本代表など女子サッカーに関する活動のすべてを運営しなければならなかった「日本女子サッカー連

盟」（1979～1989）を、資金面・人材面・施設面などあらゆる側面から支援し、後の女子サッカー発展の礎を築いたのが、三菱重工を中心とした三菱グループだったからです。

そしてこのたび、私たちは、WEリーグの理念に共感した三菱重工をチームの「命名権パートナー」として迎えることになり、「三菱重工浦和レッズレディース」と呼称が変更になりました。3年間の命名権契約の期間内にプロチームとしての基盤を整備し、中長期的に自立経営を図るとともに、女性活躍社会の実現、地域社会の多様性に対する理解促進などを、パートナーとともに目指していきます。

Jリーグで奮闘する浦和レッズの活躍には、ホームタウンの人々が心を弾ませ、その勝敗に一喜一憂します。三菱重工浦和レッズレディースも、「ライバル」の浦和レッズに負けたくない、ホームタウンの人びとを喜ばせ、みんなの話題になっていきたいと願っています。スピードやパワーではJリーグに勝てないかもしれませんが、女子サッカーには「勝利を目指してひたむきに取り組む美しさ、協調、フェアネス」などの大きな魅力があり、私たちにも、サッカーというゲームの喜びをホームタウンの皆さまにお伝えできる力があるはずと確信しています。

「土曜日はJリーグ、日曜日にはWEリーグ」が、私たちの目指すところ。プロとして大先輩の浦和レッズとともに、ホームタウンの人びとに愛されるチームになり、「健康で活力のある『スポーツのまち さいたま』」を強く意識し、それを実現するための力になりたいと思っています。

浦和レッズレディースの歩み

Timeline of club history from 2004 to 2020, detailing league participation, championships, and key events.

2021三菱重工浦和レッズレディースパートナー



三菱重工 浦和レッズレディース



日本初の女子プロサッカーリーグ 「WEリーグ」が2021年秋に開幕します!!

WE LEAGUE 2021 WEリーグプレシーズンマッチ

Table with match details: 試合, 開催日, H/A, キックオフ, 対戦相手, 会場.

○90分間（前後半各45分）の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。○順位の決定は行わない。

Table for club original match: クラブオリジナルマッチ, 6/19 (土), HOME, 14:00 KICK OFF.

○この試合はクラブ間の合意で開催されます。

※プレシーズンマッチの詳細はWEリーグ公式Webサイトおよび浦和レッドダイヤモンドレディース公式サイトをご覧ください。



https://rex-ticket.jp/event/ladies/ チケットについての詳細は浦和レッズオフィシャルチケットサイト [REX TICKET] (https://rex-ticket.jp/event/ladies/) をご覧ください。







2021-2022

# 三菱重工浦和レッズレディース

## 2021-2022 TEAM SQUAD

# プレイヤーズ

**名前**  
Name

**背番号**  
ポジション

**顔写真**

- 1 生年月日
- 2 前登録チーム(チーム名は当時のもの)
- 3 なでしこリーグ(リーグ)通算出場数(ゴール数)  
※浦和レッズレディースでの通算(2005~)
- 4 女子日本代表通算出場数(ゴール数)  
※2020年3月11日現在
- 5 プロフィール

**池田 咲紀子** **1**  
IKEDA Sakiko **GK**

- 1992.09.08
- 浦和レッズ Jrユースレディース
- 131 (0)
- 16 (0)
- 足もとの技術や正確なキック、判断の良い飛び出しなど、広いプレーエリアが特長。「最後方のフィールドプレイヤー」として、高い守備ラインを支える。育成出身選手の代表格。

**長船 加奈** **2**  
OSAFUNE Kana **DF**

- 1989.10.16
- ベガルタ仙台レディース
- 92 (8)
- 15 (2)
- 加入7年目。公式戦300試合出場の実績が光るセンターバック。自陣ゴール前での落ち着いたプレーと判断の良さで相手の攻撃をつぶす。セットプレーからの得点も魅力。

**南 萌華** **3**  
MINAMI Moeka **DF**

- 1998.12.07
- 浦和レッズ レディースユース
- 48 (1)
- 12 (0)
- 年代別女子代表で国際試合の実績が豊富なセンターバック。機を見ての攻撃参加も武器で、得点も多い。育成から昇格5年目の2021年は、大学を卒業してプロとなる転換期でもある。

**水谷 有希** **16**  
MIZUTANI Yuki **MF**

- 1996.04.11
- 筑波大学女子サッカー部
- 41 (5)
- 4-
- 筑波大学在学中に特別指定選手として公式戦に出場し2019年に加入。中盤ならどこでも高いレベルでプレーする。高い技術と広い視野の持ち主で、1本のパスでチャンスを演出する。

**遠藤 優** **17**  
ENDO Yu **MF**

- 1997.10.29
- 浦和レッズ レディースユース
- 28 (1)
- 4-
- 育成時代は快足のサイドアタッカーとして活躍し、昇格6年目。2019年から試合出場が増え、持ち味である縦への推進力を生かしたプレーでチャンスを作っている。

**柴田 華絵** **18**  
SHIBATA Hanae **MF**

- 1992.07.27
- 神村学園高等学校
- 183 (13)
- 1 (0)
- 加入11年目のキャプテン。攻撃的MFから、現在はボランチを務める。相手の包囲を連係や技術でかわして展開する場面、ゴール前の混戦で点を決める場面など魅力いっぱいの選手。

**佐々木 萌** **4**  
SASAKI Mayu **MF**

- 1993.01.12
- マイナビベガルタ仙台レディース
- 51 (4)
- 8 (0)
- 移籍4年目。左サイドバック、左サイドハーフ、ボランチなど複数のポジションを高いレベルでこなす。遠めからの正確なクロスのほか、気の利いたプレーでチームを助ける。

**上野 紗希** **5**  
UENO Saki **DF**

- 1994.11.20
- ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- 5 (0)
- 1 (0)
- 育成出身。千葉入りした2013年にリーグ新人賞を獲得し、日本女子代表にも招集された左サイドバック。スピードを生かしたオーバーラップが魅力。2020年に浦和に復帰した。

**栗島 朱里** **6**  
KURISHIMA Akari **MF**

- 1994.09.14
- 浦和レッズ レディースユース
- 110 (3)
- 1 (0)
- チームが最も苦しかった2013年にトップ昇格し、1年目から運動量豊富なボランチとして公式戦10試合に出場した。ミドルシュートやインターセプトが得意。

**塩越 柚歩** **19**  
SHIOKOSHI Yuzuho **MF**

- 1997.11.01
- 浦和レッズ レディースユース
- 59 (4)
- 4-
- 育成から昇格6年目。ドリブルと正確なキックが持ち味で、前線ならどこでも力を発揮する。視野が広く遠めから運ぶと見せかけてシュートを放つ、相手にとって厄介な存在。

**高橋 美紀** **20**  
TAKAHASHI Minoru **DF**

- 2001.10.08
- 浦和レッズ レディースユース
- 40
- 4-
- 育成時代はセンターバックでプレーし、チームのキャプテンも務めた。着実な守備でチームを支えてきた。2020年にトップに昇格。

**文道 美音** **21**  
BUNDO Mio **GK**

- 1997.03.08
- VONDS市原FCレディース
- 0
- 4-
- 流通経済大学女子サッカー部を経て、千葉県女子リーグ1部のVONDS市原FCレディースから2020年に加入。リーグ戦1試合と皇后杯全試合にベンチ入りした。

**高橋 はな** **7**  
TAKAHASHI Hana **DF**

- 2000.02.19
- 浦和レッズ レディースユース
- 43 (7)
- 1 (0)
- 身体能力の高いDF、スピードのあるサイドバック、威力あるシュートを放つFW、どのポジションでも、パワー感あふれるプレーが魅力。年代別女子代表で国際大会の実績も豊富。

**猶本 光** **8**  
NAOMOTO Hikaru **MF**

- 1994.03.03
- SCフライブルク
- 126 (14)
- 20 (0)
- 約2年間ドイツでプレーし、2020年に復帰。たくましく成長した姿を見せ優勝に貢献した。中盤からラストパス、ドリブル、ミドルシュートなど多彩な武器を駆使し、チャンスを作る。

**菅澤 優衣香** **9**  
SUGASAWA Yuika **FW**

- 1990.10.05
- ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- 69 (48)
- 71 (20)
- 移籍5年目。難しい体勢からでもゴールを決めるストライカーでリーグ通算111得点。2020年は3度目となるリーグ得点王に輝き、自身初の優勝に貢献。リーグMVPも受賞した。

**一法師 央佳** **22**  
IPPOSHI Hiroka **MF**

- 2001.05.16
- 浦和レッズ レディースユース
- 30
- 4-
- 育成時代はFWまたはMFとしてチームの攻撃の中心を担っていた。高校3年生の終盤、ケガで公式大会に出場できなかった悔しさを、トップチームで活躍することで晴らしたい。

**柴山 史菜** **23**  
SHIBAYAMA Fumina **MF**

- 2000.04.13
- 常盤木学園高等学校
- 1 (0)
- 4-
- 高校時代はボランチでプレー。チームのキャプテンを務めた2018年の高校総体で優勝。高校女子選手権では準優勝を果たし2019年レッズ入り。左サイドバックで出場を目指す。

**島田 芽依** **24**  
SHIMADA Mei **FW**

- 2002.05.08
- 浦和レッズ レディースユース
- 30
- 4-
- 2017年の全日本女子ユース(U-15)選手権優勝。育成時代はFWとして多くの得点を決めてきた。相手との駆け引きで裏に抜け出すプレーから、確実にシュートを決める。2021年昇格。

**安藤 梢** **10**  
ANDO Kozue **FW**

- 1982.07.09
- SGSエッセン
- 159 (75)
- 126 (19)
- 日本女子リーグデビューから20年目を迎えたレジェンド。7年半ドイツでプレーし、2017年に復帰。プレーでも精神面でもチームを牽引する。2011年ワールドカップ優勝メンバー。

**清家 貴子** **11**  
SEIKE Kiko **FW**

- 1996.08.08
- 浦和レッズ レディースユース
- 106 (24)
- 2 (1)
- 2014年、高校3年生でリーグ戦8点を挙げ優勝に貢献した。2019年から右サイドバックで活躍。パワフルなシュートや相手を抜き去るドリブルのスピードは必見。

**福田 史織** **12**  
FUKUDA Shiori **GK**

- 2002.06.13
- 浦和レッズ レディースユース
- 1 (0)
- 4-
- 2017年の全日本女子ユース(U-15)選手権優勝。各年代別代表も経験。高校3年生の2020年、リーグ戦1試合に途中出場。「もっとピッチの中でこの歓声を聞きたいと思った」

**河合 野乃子** **25**  
KAWAI Nonoko **DF**

- 2002.05.05
- 浦和レッズ レディースユース
- 30
- 4-
- 2017年の全日本女子ユース(U-15)選手権優勝。ゲームキャプテンも務めたセンターバック。育成時代最後の大会にケガでほとんど出場できなかった無念さをWEリーグで晴らす。

**長嶋 玲奈** **13**  
NAGASHIMA Reina **DF**

- 1998.09.12
- 浦和レッズ レディースユース
- 24 (1)
- 4-
- 昇格5年目。育成時代、FW、ボランチ、サイドバックなど多くのポジションを経験し、現在は攻撃的MF、サイドバックなどを務める。アーリークロスからのチャンスメイクが持ち味。

**植村 祥子** **14**  
UEMURA Shoko **FW**

- 1993.08.17
- 日体大FIELDS横浜
- 3 (0)
- 4-
- 2017年までなでしこリーグ2部で多くの得点を挙げ、16年には2部得点王にもなったストライカー。1部に昇格した18年にはリーグ戦全試合に出場した経験を持ち、2019年に加入。

**柳澤 紗希** **15**  
YANAGISAWA Saki **MF**

- 1996.05.05
- 早稲田大学ア式蹴球部女子部
- 1 (1)
- 4-
- 育成出身で当時は思いきりの良いプレーでアクセントとなる攻撃的MFとして活躍。早稲田大学では全日本大学女子選手権、関東女子リーグなど多くの優勝を経験し、浦和に復帰して3年目。

| COACHING STAFF |           | 総監督   |                   |
|----------------|-----------|-------|-------------------|
| コーチングスタッフ      | 監督        | 森 栄次  | MORI Eiji         |
|                | ヘッドコーチ    | 楠瀬 直木 | KUSUNOSE Naoki    |
|                | GKコーチ     | 正木 裕史 | MASAKI Hirofumi   |
|                | アシスタントコーチ | 立石 典久 | TATEISHI Norihisa |
|                | トレーナー     | 下山 薫  | SHIMOYAMA Kaoru   |
|                |           |       | 林 佐保              |

三菱重工浦和レッズレディース  
オフィシャルサイト  
<https://www.urawa-reds.co.jp/ladies/>

レッズレディース 🔍